reindeer-antler, while it never takes such a shape in *T. snyderae*.

References

Abbott, I. A. 1971. Pacific Sci. **25**: 349-356. Dawson, E. Y. 1950. American Journ. Bot. **37**: 149-158. Doty, M. S. & E. Menez. 1960. Trans. American Microsc. Soc. **79**: 135-144. Gordon, E. M. 1972. Australian Journ. Bot., Suppl. Ser. 4, 1-180. Noda, M. 1960. Journ. Fac. Sci. Niigata Univ., Ser. II, **4**: 7-13. —— 1972. Sci. Rep. Niigata Univ., Ser. D, **9**: 1-15. Okamura, K. 1933-1937. Icones of Japanese Algae. VII. Tokyo. —— 1934. Bot. Mag. Tokyo. **48**: 883-888. Segawa, S. 1936. Sci. Pap. Instit. Algol. Res. Hokkaido Imp. Univ. **1**: 175-197. —— 1938. Ibid. **2**: 131-153. —— 1949. Journ. Fac. Agr. Kyushu Univ. **9**: 143-147. Yamada, Y. & T. Tanaka. 1934. Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa. **24**: 342-349.

* * * *

紅藻スエヒロヒビダマの有性体，果胞子体は今日まで知られていなかったが，北海道日本海沿岸の利尻・礼文・天売・焼尻島の水深 3-12 m の漸深帯からこれらを採集し，観察した。胎原列は直立枝の側枝に頂生し，受精後，助細胞ならびに側枝の細胞とでT字様の癒合細胞を形成し，果胞子は 1 個ずつゼラチン様膜で覆われる。また嚢果を囲む苞糸を欠くなどの点から本種を *Spermothamnion* 属から *Tiffaniella* 属に移すのが妥当と考え，新組合せ *Tiffaniella suyehiroi* (Okam.) Kaneko を提唱する。

□筑前国産物帳 pp. 379. **筑前国産物絵図帳** pp. 220（覆刻版）西日本新聞社，1975, May. ¥35,000. この産物帳及び絵図帳は八代将軍徳川吉宗が享保 19 年（1734）に諸藩に命じて諸国の産物（主に農産・畜産・海産物）の名や形を調査報告するようにさせたのにこたえて，筑前藩主第 6 代黒田継高が納戸役の竹田定澄と藩医の小野玄林に命じて作らせた報告書で，その調製に 4 年を要し，元文 3 年（1738）に出来上がった。その控えが黒田家に伝った筈だがどうしたわけか京都の古本屋に出たのを昭和 36 年に買いもどしたといういきさつがある。

産物帳は上中下三巻でその内，上中が植物である。穀，菜，海藻，菌，瓜，菓，木，竹，草の各類にわたって名称が列挙してあり，穀類菜類では多くの品種名もあげている。これを 7 人の専門家に註釈をしてもらったのを夫々下段に組んであり，註釈は全般的な説明だけでなく福岡を中心にしたローカルな面にも触れている。この中の若干を図示したのが絵図帳でこれもはじめの説明に註釈をしている。図は素描であるがカカツガユの図など中々よいし，カガシラというもの，じつはアカガシラのアが消えてできあがった事を示すなど中々参考になる。ただ同定に二三の問題があること，菌類の図が全く不詳で終っているなどは惜しい。（前川文夫）